

1. Report No. UMTRI-2013-31	2. Government Accession No.	3. Recipient's Catalog No.	
4. Title and Subtitle 米国各州における走行距離と経済活動: 1997-2011		5. Report Date September 2013	
		6. Performing Organization Code 383818	
7. Author(s) Michael Sivak		8. Performing Organization Report No. UMTRI-2013-31	
9. Performing Organization Name and Address The University of Michigan Transportation Research Institute 2901 Baxter Road Ann Arbor, Michigan 48109-2150 U.S.A.		10. Work Unit no. (TRAIS)	
		11. Contract or Grant No.	
12. Sponsoring Agency Name and Address The University of Michigan Sustainable Worldwide Transportation http://www.umich.edu/~umtriswt		13. Type of Report and Period Covered	
		14. Sponsoring Agency Code	
15. Supplementary Notes			
16. Abstract <p>エネルギーや環境について高い関心があるこれらの時期に、運転当たり比較的高い経済活動を有することが望ましい。そこで、本研究は米国各州と現在コロンビア特別区における単位距離当たりのGDPと近年の変化量を調査した。</p> <p>2011年、単位距離当たり最も高いGDPを有していたのは、コロンビア特別区(\$30.04/mile)であり、次いで、アラスカ州、ニューヨーク州、コネチカット州、デラウェア州であった。単位距離当たり最も低いGDPを有していたのは、ミシシッピ州(\$2.51/mile)であり、次いで、アラバマ州、ニューメキシコ州、アーカンソー州、オクラホマ州であった。中央値は\$4.66/mileでした。比較として、自動車の運用固定費や変動費に対する標準的な連邦政府の変換率は\$0.51/mileでした。</p> <p>1997年から2011年までの間で、単位距離当たりのGDPにおける最も高い絶対増加値は、コロンビア特別区でした(+ \$14.95/mile)、次いで、アラスカ州、ニューヨーク州、デラウェア州、オレゴン州でした。最少増加値はミシシッピ州(+ \$0.67/mile)であり、次いで、アラバマ州、ミシガン州、フロリダ州、ニューメキシコ州でした。</p> <p>1997年から2011年までの間で、単位距離当たりのGDPにおける最も大きい増加率はワイオミング州(+115%)であり、次いで、コロンビア特別区、ノースダコタ州、アラスカ州、オレゴン州でした。最少増加率は、ミシガン州(+28%)であり、次いで、フロリダ州、オハイオ州、ミシシッピ州、ニュージャージー州でした。ミシガン州、フロリダ集、オハイオ州、ミシシッピ集の四州における増加は類似のインフレ増加よりも低かった。</p>			
17. Key Words 走行距離, 経済活動, GDP, 州		18. Distribution Statement Unlimited	
19. Security Classification (of this report) None	20. Security Classification (of this page) None	21. No. of Pages 12	22. Price